

科目名		患者参加論			担当教員名	萩原 邦子、大石 雅子、 別所 一彦
該当DP	3	単位数	1単位	必修	配当年次	1年次・第1 Semester (後半)
曜日・時限		土曜日・1限目			教室	視聴覚大講義室
授業概要		医療の質向上と安全を目指すためには、医療の当事者である患者参加が不可欠である。本講義では、患者が医療に参加する意義を考え、多職種の視点から患者参加型医療の実践例を紹介し、医療安全に求められる倫理的にも質の高い医療の実現についてディスカッションを行う。				
到達目標		1) 医療における患者参加の意義について理解し、説明できる。 2) 患者参加型医療について理解し、説明できる。 3) 学生自身がおかれた立場で実践できる患者参加型医療について考えることができる。				
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
1	6/20	患者参加とは(萩原)	医療における患者参加の意義と歴史の変遷、関連する概念を紹介し、患者参加の理解を深める。 [ディスカッション]			○
2	6/27	医療安全における患者参加(萩原)	医療安全における患者参加について講義し、自身の立場から患者参加について議論する。[ディスカッション]			○
3	7/4	薬剤師の視点からみた患者参加型医療(大石)	薬剤師が薬物治療を通じて患者参加型医療にどのように関わっているかを紹介し、その内容について議論する。 [ディスカッション]			○
4	7/11	医師の視点からみた患者参加型医療(別所)	医師が患者参加型医療にどのように関わっているかを紹介し、その内容について議論する。 [ディスカッション]			○
5	7/18	共同意思決定について(萩原)	治療選択において患者が主体的に参加することの意義や実践例について紹介し、その内容について議論する。[ディスカッション]			○
6	7/25	患者参加型医療の実現①(萩原)	患者参加型医療の実現可能な実践として、共同意思決定の具体的方策について検討する。 [グループディスカッション]			○
7	8/1	患者参加型医療の実現②(萩原)	患者参加型医療の実現可能な実践として、具体的に共同意思決定について立案し、議論し、まとめを行う。 [グループディスカッション]			○
8	8/8	患者参加型医療の実現③(萩原)	患者参加型医療の実現可能な実践として、共同意思決定について発表し、総合討論する。 [グループディスカッション][プレゼンテーション]			○
キーワード		患者参加、患者参加型医療、意思決定	履修条件	なし		
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	講義の中で適宜紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①レポート(80%)、②授業・演習への参加・貢献度(20%) [①講義の内容を十分理解し自分の考えをまとめられているか、②授業・演習への積極性、を判断します。]				
授業時間外に必要な学修		医療の質向上および安全の担保のために、患者の参加がなぜ必要なのかについて、自身の意見を整理しておくこと。				
学生へのメッセージ		医療における患者参加の意義について一緒に考えましょう。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。